

グッドステージレポート

Good
Stage
投資型年金
グッドステージ
新変額個人年金保険

2025年4月発行

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。



東京海上日動あんしん生命

ご契約者さまへ

当資料は、ご契約者さまに、各特別勘定の運用状況、資産の内訳等をお知らせするための資料です。当資料には「ご契約状況のお知らせ」とは異なり、個々のご契約の運用状況は掲載されておりませんので、ご了承ください。

■積立金の移転（スイッチング）について

- ・積立金の移転（スイッチング）は、すべての特別勘定の積立金をご指定の特別勘定の割合に再配分するしくみです（一部の特別勘定の種類や割合を変更するものではありません）。
- ・複数の特別勘定を組み合わせることもできます。1%単位で、合計が100%になるようにご指定ください。

ご注意

リバランス（定期的に積立金の配分を自動調整する機能）の指定割合を変更いただくには、「リバランスの設定・解除」のお手続きも必要です。

■積立金の移転（スイッチング）の実行日について

「ユニットプライスの評価基準日」が異なる特別勘定間の積立金の移転（スイッチング）では、移転手続きする契約の移転前および移転後のすべての特別勘定のうち、最も遅い日が適用されますのでご注意ください。

種類	特別勘定の名称	ユニットプライスの評価基準日
株式型	日本株式（A）	会社受付日
	日本株式（B）	
	日本株式（D）	
債券型	世界株式（A）	会社受付日の翌営業日
	世界債券（A）	
総合型	世界バランス（A）	
金融市場型	マネー（A）	会社受付日

■積立金の移転（スイッチング）のお手続きの方法について

積立金の移転（スイッチング）はインターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」によるお手続きが可能です。また、書面（請求書）によるお手続きも可能です。

●インターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」：<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

当社ホームページの「変額保険・変額年金保険情報サイト」内の「ご契約者さま専用ページ」よりお手続きください。

お手続きが可能な時間：9：00～21：00

会社受付日：お手続きいただく時間帯に応じて下表の日を会社受付日として取り扱います。

当社が受付を完了した時刻	会社受付日
平日 15：29まで ^{*1} に受付を完了した場合	当日を受付日とします。
平日 15：30以降 ^{*2} に受付を完了した場合	翌営業日を受付日とします。

（注）土曜、日曜、祝日および年末年始は、翌営業日を会社受付日として取り扱います。

※1 2024年11月5日より、東京証券取引所の取引時間延長に伴い、14：59⇒15：29に変更になりました。

※2 ※1同様の理由から、15：00⇒15：30に変更になりました。

「ご契約者さま専用ページ」は、当社ホームページからご登録（※）いただけます。

ご登録後、ログインに必要なID・仮パスワードを簡易書留でお送りします。

<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

（※）ご契約者さまが法人または未成年の場合は、書面（請求書）によるお手続きが必要です。

●書面（請求書）によるお手続き

巻末に記載のフリーダイヤルへご連絡くださいますようお願い申し上げます。

目次

種類	特別勘定の名称	掲載ページ
株式型	日本株式(A) ■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2 <input type="checkbox"/> 運用会社：フィデリティ投信 <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) ^{*1} ：1.353%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約133.3億円	3p
株式型	日本株式(B) ■ 投資対象となる投資信託：ダイワ・バリュー株・オープンVA(底力VA) <input type="checkbox"/> 運用会社：大和アセットマネジメント <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) ^{*1} ：1.309%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約15.7億円	4p
株式型	日本株式(D) ■ 投資対象となる投資信託：ダイワ・ジャパン・オープンVA(D.J.オープンVA) <input type="checkbox"/> 運用会社：大和アセットマネジメント <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) ^{*1} ：1.309%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約2.9億円	5p
株式型	世界株式(A) ■ 投資対象となる投資信託：大和住銀／T.ロウ・プライス外国株式ファンドVA <input type="checkbox"/> 運用会社：三井住友DSアセットマネジメント <input type="checkbox"/> 投資顧問：ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) ^{*1} ：1.485%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約51.9億円	6p
債券型	世界債券(A) ■ 投資対象となる投資信託：JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし) <input type="checkbox"/> 運用会社：ブラックロック・ジャパン <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) ^{*1} ：0.528%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約15.1億円	7p
総合型	世界バランス(A) ■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・バランス・ファンドVA2 <input type="checkbox"/> 運用会社：フィデリティ投信 <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) ^{*1} ：最大年率1.35%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約5.2億円	8p
金融市場型	マネー(A) ■ 投資対象となる投資信託：マネー・オープン他 <input type="checkbox"/> 運用会社：大和アセットマネジメント <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) ^{*1} ：各月ごと ^{*2} に決定	9p

※残高は2025年2月末現在

*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。
また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。
*2 各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.55(税込)を乗じて得た率とします。ただし、当該率が年0.99%(税込)を超える場合には、年0.99%(税込)の率とします。

日本株式 (A)

(2025年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

【投資対象となる投資信託】

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	217.32	-
2024年 3月31日	272.99	3.63%
4月30日	269.78	-1.18%
5月31日	271.88	0.78%
6月30日	276.75	1.79%
7月31日	274.72	-0.73%
8月31日	263.26	-4.17%
9月30日	260.36	-1.10%
10月31日	260.73	0.14%
11月30日	258.19	-0.97%
12月31日	268.12	3.84%
2025年 1月31日	265.63	-0.93%
2月28日	252.70	-4.87%
3月31日	253.18	0.19%
3ヶ月変化率		-5.57%
6ヶ月変化率		-2.76%
1年変化率		-7.26%
3年変化率		16.50%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	176	1.6%
有価証券等		
フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA2	10,678	98.4%
その他	-	-
資産合計	10,854	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	10,854	100.0%

投資対象となる投資信託について

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】TOPIX (配当金込)

運用状況

■市場別構成比 (2025.2末現在)

市場	構成比
東証プライム	96.4%
東証スタンダード	1.7%
東証グロース	0.5%
その他市場	-
現金・その他	1.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位5業種構成比 (2025.2末現在)

業種	構成比
1 電気機器	20.5%
2 銀行業	10.9%
3 輸送用機器	8.3%
4 小売業	6.6%
5 卸売業	5.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2025.2末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ソニーグループ	電気機器	5.2%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.8%
3 日立製作所	電気機器	4.2%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.7%
5 伊藤忠商事	卸売業	2.9%
6 リクルートホールディングス	サービス業	2.9%
7 キーエンス	電気機器	2.9%
8 トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%
9 東京海上ホールディングス	保険業	2.6%
10 豊田自動織機	輸送用機器	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 171)

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.3末現在)

当月の東京株式市場は、前月に続いて米国の追加関税が世界経済に与える影響が懸念され、上値の重い推移となりました。中国に対する関税引き上げや、カナダ・メキシコに対する追加関税の発動など、トランプ政権が打ち出す関税政策に対する警戒感が高まる中で、株価は軟調に始まりました。しかし、カナダ・メキシコに対する関税に猶予措置が取られたことや、為替が円安方向に振れたことなどから、中旬には日本株は上昇に転じ、調整色を強めていた米国株が持ち直したことも支えとなって、TOPIXは2024年7月以来となる高値水準を回復しました。月末近くには、米政権が発表した輸入自動車に対する追加関税に加え、全世界を対象として貿易相手国と同水準まで関税率を引き上げる相互関税などが世界経済に与える影響が警戒され、株価は大きく下落して月を終えました。長期金利上昇を背景に上昇した金融株などが支えとなって底堅く推移したTOPIXに対し、米中対立が懸念された半導体関連株の株価調整が響いた日経平均株価は弱含み、両指数の月間の動きには差が見られました。月間の騰落率は、TOPIX (配当込) が+0.22%、日経平均株価は-4.14%でした。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株式 (B)

(2025年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の上場株式および店頭登録株式の中から、取得時にPERおよびPBR等の指標または株価水準からみて割安と判断され、今後株価の上昇が期待される銘柄に投資します。

【投資対象となる投資信託】

ダイワ・バリュー株・オープンVA (底力VA)

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	158.73	-
2024年 3月31日	243.74	6.04%
4月30日	243.79	0.02%
5月31日	245.48	0.69%
6月30日	250.67	2.12%
7月31日	249.10	-0.63%
8月31日	241.43	-3.08%
9月30日	240.86	-0.24%
10月31日	243.70	1.18%
11月30日	245.52	0.75%
12月31日	253.61	3.29%
2025年 1月31日	254.23	0.25%
2月28日	243.80	-4.10%
3月31日	246.25	1.00%
3ヶ月変化率		-2.90%
6ヶ月変化率		2.24%
1年変化率		1.03%
3年変化率		55.14%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	28	1.7%
有価証券等		
ダイワ・バリュー株・オープンVA (底力VA)	1,590	98.3%
その他	-	-
資産合計	1,618	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,618	100.0%

投資対象となる投資信託について

ダイワ・バリュー株・オープンVA (底力VA) の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】TOPIX

運用状況

■資産構成比率 (2025.3末現在)

資産	構成比
国内株式	96.5%
国内株式先物	-%
国内合計	96.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位5業種構成比 (2025.3末現在)

業種	構成比
1 銀行業	12.4%
2 電気機器	12.2%
3 機械	8.8%
4 情報・通信業	7.2%
5 輸送用機器	6.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2025.3末現在)

銘柄名	構成比
1 東京海上HD	4.5%
2 三菱UFJフィナンシャルG	4.4%
3 三井住友フィナンシャルG	4.1%
4 小松製作所	3.7%
5 トヨタ自動車	3.6%
6 LINEヤフー	3.2%
7 日本電気	2.9%
8 日立	2.8%
9 三菱商事	2.8%
10 住友電工	2.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

(銘柄数 109)

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.3末現在)

<株式市況> 国内株式市場は小幅に上昇しました。関税引き上げが米景気後退をもたらす可能性をトランプ米大統領が明確に否定しなかったことで、投資家心理が悪化し、月半ばにかけて上値の重い展開が続きました。その後、米国株の上昇や好調な2025年春闘を好感して国内株も大きく反発しましたが、米政権の関税政策を巡る不透明感が根強い中、米経済がスタグフレーションに陥る可能性への懸念から投資家心理が悪化し、上昇幅を縮小しました。

<運用経過> ポートフォリオの構築に際しては、日米の政策の動向を勘案しつつ、今後の業績回復や好調な業績の継続性などに注目して銘柄を入れ替えました。また、自己株式の取得や配当金の増額などの株主還元を通じて、資本効率の改善が期待される銘柄に注目しました。具体的には、事業構造改革に着手し、業績の回復とキャッシュフローの改善による株主還元の向上が期待される総合電機株や、堅調な需要環境と段階的な株主還元の向上が期待される不動産株などのウェイトを引き上げました。一方で、資本政策の見直し評価され、株価上昇によって割安感が低下した公共関連株や、米国の経済政策見直しによる影響が懸念された非鉄金属関連株などのウェイトを引き下げました。また、販売競争激化の影響による業績と株主還元の安定性を勘案して通信キャリア株の保有ウェイトを見直しました。このような売買や株価変動により、業種構成では不動産業、食料品、その他製品などの比率が上昇し、非鉄金属、電気・ガス業、機械などの比率が低下しました。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。

・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があります。

・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された見解を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日
 【資産分類】日本株式
 【運用方針】
 日本の証券取引所上場株式を主要投資対象とします。ボトムアップアプローチを基本とし、各種投資指標から判断して割高と判断される銘柄を除外して投資します。
 【投資対象となる投資信託】
 ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA)

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	169.52	-
2024年 3月31日	226.28	4.42%
4月30日	218.88	-3.27%
5月31日	225.11	2.85%
6月30日	232.43	3.25%
7月31日	228.17	-1.83%
8月31日	223.68	-1.97%
9月30日	221.59	-0.93%
10月31日	225.40	1.72%
11月30日	225.55	0.06%
12月31日	232.14	2.92%
2025年 1月31日	236.44	1.85%
2月28日	222.21	-6.02%
3月31日	218.38	-1.72%
3ヶ月変化率		-5.93%
6ヶ月変化率		-1.45%
1年変化率		-3.49%
3年変化率		28.82%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	6	2.4%
有価証券等		
ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA)	286	97.6%
その他	-	-
資産合計	293	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	293	100.0%

投資対象となる投資信託について

ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA) の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント
 【運用対象】日本株式
 【ベンチマーク】TOPIX

運用状況

■資産構成比率 (2025.3末現在)

資産	構成比
国内株式	94.7%
国内株式先物	-
国内合計	94.7%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位5業種構成比 (2025.3末現在)

業種	構成比
1 電気機器	26.3%
2 情報・通信業	10.5%
3 機械	8.3%
4 化学	8.2%
5 その他製品	7.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2025.3末現在)

銘柄名	構成比
1 ソニーグループ	8.2%
2 リクルートホールディングス	5.2%
3 キーエンス	4.8%
4 日立	3.4%
5 住友電工	3.4%
6 三菱重工	3.4%
7 任天堂	3.3%
8 富士通	3.3%
9 アシックス	3.3%
10 信越化学	3.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

(銘柄数 68)

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.3末現在)

3月の国内株式市場は小幅に上昇しました。関税引き上げが米景気後退をもたらす可能性をトランプ米大統領が明確に否定しなかったことで、投資家心理が悪化し、月半ばにかけて上値の重い展開が続きました。その後、米国株の上昇や好調な2025年春闘を好感して国内株も大きく反発しましたが、米政権の関税政策を巡る不透明感が根強い中、米経済がスタグフレーションに陥る可能性への懸念から投資家心理が悪化し、上昇幅を縮小しました。ベンチマークと比較して、業種では、その他製品のオーバーウエート、銀行業や卸売業のアンダーウエートなどがマイナス要因となりました。個別銘柄では、中長期的な成長期待が高まった防衛関連銘柄や、業績が堅調に推移しているITサービス関連銘柄などがプラスに寄与しましたが、利益確定機運が高まった人材サービス関連銘柄や、事業環境の先行きに対する不透明感などが懸念された半導体関連銘柄などはマイナス要因となりました。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界株式 (A)

(2025年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

- 【特別勘定の設定日】2001年11月1日
- 【資産分類】外国株式
- 【運用方針】
日本を除く世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。
- 【投資対象となる投資信託】
大和住銀／T. ロウ・プライス外国株式ファンドVA

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比	円/ドル
2022年 3月31日	428.71	—	122.39
2024年 3月31日	558.56	4.30%	151.41
4月30日	560.95	0.43%	156.90
5月31日	574.33	2.39%	156.74
6月30日	610.23	6.25%	161.07
7月31日	551.57	-9.61%	152.44
8月31日	541.89	-1.75%	144.80
9月30日	546.43	0.84%	142.73
10月31日	579.77	6.10%	153.64
11月30日	578.03	-0.30%	150.74
12月31日	603.83	4.46%	153.18
2025年 1月31日	612.33	1.41%	154.43
2月28日	569.48	-7.00%	149.67
3月31日	540.13	-5.15%	149.52
3ヶ月変化率		-10.55%	
6ヶ月変化率		-1.15%	
1年変化率		-3.30%	
3年変化率		25.99%	

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

大和住銀／T. ロウ・プライス外国株式ファンドVAの基本情報

- 【運用会社】三井住友DSアセットマネジメント
投資顧問：ティール・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク
- 【運用対象】日本を除く世界各国の株式
- 【ベンチマーク】MSCIコクサイ・インデックス (円換算)

運用状況

■地域別内訳 (2025.3末現在)

地域別	ポートフォリオ構成比
西欧	21.4%
東欧	0.0%
中東	0.0%
アフリカ	0.0%
北米	64.2%
中米	4.2%
南米	0.0%
アジア	7.8%
オセアニア	0.0%
その他	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■業種別内訳 (2025.3末現在)

セクター	構成比
エネルギー	3.8%
素材	2.5%
資本財・サービス	7.4%
一般消費財・サービス	11.6%
生活必需品	5.6%
ヘルスケア	9.5%
金融	22.8%
情報技術	24.2%
コミュニケーション・サービス	7.4%
公益事業	2.8%
不動産	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2025.3末現在)

銘柄	国名	業種	構成比
1 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	4.1%
2 MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	3.8%
3 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.5%
4 ELI LILLY & CO	アメリカ	ヘルスケア	3.5%
5 UNILEVER PLC	イギリス	生活必需品	3.4%
6 SCHWAB (CHARLES) CORP	アメリカ	金融	3.1%
7 APPLE INC	アメリカ	情報技術	2.5%
8 NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	2.4%
9 LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	イギリス	金融	2.4%
10 KENVUE INC	アメリカ	生活必需品	2.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 76)

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.3末現在)

現在の市場環境は確かに厳しいものですが、市場の変動をうまく利用して、将来の成長につながる最良のアイデアに投資するチャンスがあると考えています。現在、米国経済は変容の時期にあり、大幅な政府支出削減とより積極的な関税政策により、減速し、おそらくは一時的な景気後退局面を迎えるでしょう。さらに、米国と同盟国との地政学的な関係にも変化が見られ、米国は第二次世界大戦以来維持されてきた地政学的なバランスから離れつつあるように見えます。そのため、リスクを軽減するために、ポートフォリオを比較的防衛的に位置づけています。同時に、米国の規制緩和の恩恵を受ける企業にも注目しており、特に欧州や日本における政府支出や投資の変化から恩恵を受けると見込まれる銀行、インフラ、航空宇宙、防衛関連企業といったセクターに投資しています。また、人工知能とGLP-1sの投資トレンドは堅調であると考えており、これらの分野への投資を継続しています。

- ・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
- ・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
- ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
- ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界債券 (A)

(2025年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	13	2.7%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジなし)	468	97.3%
その他	—	—
資産合計	482	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	482	100.0%

ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、6ページに掲載しています)

	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	116.76	—
2024年 3月31日	122.38	0.97%
4月30日	123.82	1.18%
5月31日	123.93	0.09%
6月30日	127.44	2.83%
7月31日	123.29	-3.26%
8月31日	120.29	-2.43%
9月30日	120.31	0.02%
10月31日	124.53	3.51%
11月30日	121.98	-2.05%
12月31日	125.06	2.53%
2025年 1月31日	122.44	-2.09%
2月28日	119.93	-2.06%
3月31日	120.58	0.55%

3ヶ月変化率 -3.58%

6ヶ月変化率 0.23%

1年変化率 -1.47%

3年変化率 3.28%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ベース）

運用状況

国別通貨別構成比率 (2025.3末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.8%	47.7%	37.9%
カナダ	1.8%	1.3%	1.8%
メキシコ	0.7%	0.9%	0.7%
南アフリカ	—	—	0.0%
日本	9.9%	11.2%	12.3%
オーストラリア	1.1%	1.1%	1.1%
ニュージーランド	0.3%	—	0.2%
シンガポール	0.4%	0.5%	0.4%
中国	10.2%	9.9%	10.1%
マレーシア	0.5%	0.7%	0.7%
韓国	—	2.4%	2.4%
ユーロ	26.5%	30.8%	26.4%
英国	4.8%	5.0%	4.7%
デンマーク	0.2%	0.3%	0.2%

	ベンチマーク	債券	通貨
スウェーデン	0.2%	0.3%	0.2%
スイス	—	—	0.0%
ポーランド	0.6%	0.5%	0.5%
ノルウェー	0.1%	0.3%	0.2%
チェコ	—	—	0.1%
イスラエル	0.3%	—	0.3%
キャッシュ等	—	-12.8%	—
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2025年4月の構成比率

※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます

※通貨は実質為替組入比率

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

組入上位10銘柄 (2025.3末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 日本国債	0.100	2031/9/20	3.9%
2 フランス国債	2.750	2030/2/25	3.0%
3 アメリカ国債	4.125	2027/1/31	3.0%
4 韓国国債	2.875	2026/9/10	2.4%
5 アメリカ国債	4.000	2029/7/31	2.3%
6 アメリカ特殊債	6.000	2025/4/14	2.2%
7 フランス国債	2.750	2029/2/25	2.1%
8 イタリア国債	3.650	2035/8/1	2.1%
9 アメリカ国債	4.375	2034/5/15	2.0%
10 アメリカ国債	4.125	2027/2/28	1.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 252）

修正デュレーション=平均7.05年（ベンチマーク=同6.84年）

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があります。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界バランス (A)

(2025年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】 2001年11月1日

【資産分類】 バランス

【運用方針】

日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品に分散投資を行います。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

フィデリティ・バランス・ファンドVA2

■ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、6ページに掲載しています)

	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	157.26	-
2024年 3月31日	188.00	2.78%
4月30日	187.79	-0.11%
5月31日	190.09	1.22%
6月30日	196.49	3.37%
7月31日	190.82	-2.89%
8月31日	188.15	-1.40%
9月30日	189.61	0.78%
10月31日	194.25	2.45%
11月30日	192.53	-0.88%
12月31日	197.18	2.41%
2025年 1月31日	194.20	-1.51%
2月28日	187.11	-3.65%
3月31日	186.77	-0.18%
3ヶ月変化率		-5.28%
6ヶ月変化率		-1.50%
1年変化率		-0.66%
3年変化率		18.76%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	12	2.3%
有価証券等		
フィデリティ・バランス・ ファンドVA2	524	97.7%
その他	-	-
資産合計	537	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	537	100.0%

投資対象となる投資信託について

フィデリティ・バランス・ファンドVA2の基本情報

【運用会社】 フィデリティ投信

【運用対象】 日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品

【ベンチマーク】 複合インデックス (円ベース)

- TOPIX (配当金込) (25%)
- MSCIワールド・インデックス (除く日本/税引前配当金込) (25%)
- ブルームバーグ・グローバル総合インデックス (為替ヘッジなし、円ベース) (50%)

運用状況

■株式 (2025.2末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・ジャパン・サステナブル・グロース・ファンド (適格機関投資家専用)	26.2%
フィデリティ・ファンズ・アメリカン・グロース・ファンド	22.0%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・ダイナミック・グロース・ファンド	1.1%
フィデリティ・ファンズ・アジア・パシフィック・オポチュニティーズ・ファンド	0.5%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・スモラー・カンパニーズ・ファンド	0.3%
フィデリティ・ファンズ・サステナブル・アジア株式ファンド	0.2%
合計	50.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位5ヶ国・地域 (2025.2末現在)

国名	構成比
1 アメリカ	43.5%
2 日本	27.1%
3 ドイツ	9.0%
4 イギリス	4.5%
5 中国	2.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■債券・短期金融資産等 (2025.2末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・インスティテュショナル・グローバル・ボンド・ファンド (除く日本円、為替ヘッジなし、適格機関投資家販売制限付き)	44.3%
iシェアーズ・コア 日本国債 ETF	1.0%
合計	45.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位5通貨 (2025.2末現在)

通貨	構成比
1 アメリカ・ドル	51.2%
2 日本・円	27.1%
3 ユーロ	9.3%
4 イギリス・ポンド	3.7%
5 中国・元	2.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの増減に加えて、積立金転移費用、貸付利息等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金転移費用、貸付利息等を控除する場合があります。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】短期金融商品

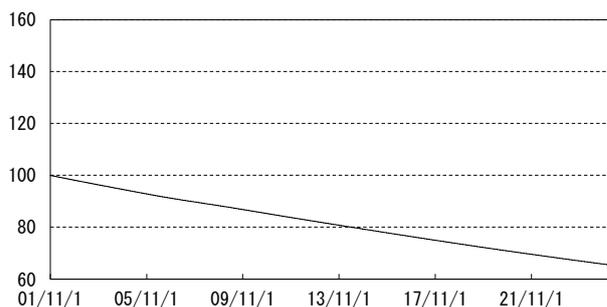
【運用方針】

円建ての短期金融商品を中心に投資します。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。

【投資対象となる投資信託】

マネー・オープン 他

■ユニットプライスの推移



■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	5	2.0%
有価証券等		
マネー・オープン	248	98.0%
その他	—	—
資産合計	253	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	253	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	69.03	—
2024年 3月31日	66.51	-0.16%
4月30日	66.41	-0.15%
5月31日	66.30	-0.16%
6月30日	66.20	-0.15%
7月31日	66.10	-0.16%
8月31日	66.00	-0.15%
9月30日	65.89	-0.16%
10月31日	65.79	-0.16%
11月30日	65.69	-0.15%
12月31日	65.59	-0.15%
2025年 1月31日	65.49	-0.16%
2月28日	65.39	-0.14%
3月31日	65.29	-0.16%
3ヶ月変化率		-0.46%
6ヶ月変化率		-0.91%
1年変化率		-1.83%
3年変化率		-5.42%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

マネー・オープン 他の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント

【運用対象】円建て短期金融商品

【ベンチマーク】特に定めなし

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

ご負担いただく費用について

■運用期間中の費用（すべてのご契約者にご負担いただく費用）

項目	費用
保険関係費用(保険契約管理費)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.85%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.485%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

■お取引の内容による費用（特定の取引のご契約者にご負担いただく費用）

項目	適用	費用
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
契約者貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.85%
解約控除	解約するとき	積立金額に対して7%～1%(経過年数に応じて)
	減額するとき	減額に相当する積立金額に対して7%～1%(経過年数に応じて)

■年金支払期間中の費用（将来、以下の内容が変更になることがあります）

●保証期間付終身年金、確定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用(年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に責任準備金から控除します)

●特別勘定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用 (年金管理費)	特別勘定年金の維持管理等に必要な費用(基本保険金額を最低保証するための費用および災害死亡保険金などの費用を除きます)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.17%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	保険関係費用(年金管理費)以外で、特別勘定の運用に係わる費用として支払われます。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.485%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険関係費用」、「資産運用関係費用」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

*資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額個人年金保険)です。
- 「投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】

大和証券

Daiwa Securities

【引受保険会社】

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

ホームページ <https://www.tmn-anshin.co.jp/>

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ

 **0120-155-730**

受付時間 平日9:00～17:00
(土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)